

船舶事故調査報告書

平成27年3月5日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成26年7月17日（木） 15時00分ごろ
発生場所	福岡県福岡市志賀島漁港 志賀島港北防波堤灯台から真方位167°400m付近 （概位 北緯33°39.7′ 東経130°19.1′）
事故調査の経過	平成26年7月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	水上オートバイ マルセイ号、0.1トン 250-53096福岡、個人所有 2.89m (Lr) × 1.10m × 0.46m、FRP ガソリン機関、103.90kW、不詳
乗組員等に関する情報	船長 男性 36歳 特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成21年7月10日 免許証交付日 平成26年7月8日 （平成31年7月12日まで有効） 同乗者 男性 41歳
死傷者等	軽傷 2人（船長及び同乗者）
損傷	船底部に破口及び擦過傷、機関に濡損
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を後部座席に乗せ、‘福岡市東区第3号道路護岸沿いの砂浜’（以下「本件砂浜」という。）沖を遊走した。</p> <p>本船は、船長が‘本件砂浜から沖に向けて築造された防砂堤（長さ約60m）’（以下「本件防砂堤」という。）の近くを通過しようと、約20～30km/hの対地速力で西進したところ、平成26年7月17日15時00分ごろ本件防砂堤に乗り揚げた。</p> <p>船長及び同乗者は、本船が急停止した際、船長が両手で操縦ハンドルを握り、深く前傾した状態で、また、同乗者が船首右舷方へ投げ出されて本件防砂堤上の海面へ落下し、それぞれ負傷した。</p> <p>本船は、船底部に破口を生じて浸水し、機関室が冠水して運転不能となったので、船長及び本件砂浜で待っていた友人により、本件砂浜</p>

	<p>に引き揚げられた。</p> <p>船長及び同乗者が、本事故後に接骨院で施術を受けた際の施術内容確認書には、船長は腰部及び左右肩関節の捻挫と、同乗者は左肩部及び左足根部の打撲と、それぞれ記入されていた。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図、写真1 本件防砂堤(低潮時 潮高約0.8m) 参照)</p>
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北北西、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の初期、潮高 約1.7m</p>
その他の事項	<p>本件防砂堤は、志賀島橋の下部の潮流により、本件砂浜の浸食を防ぐため、昭和39年に設置され、現在は一部が損壊して、幅約2～3mの切れ間を生じており、また、標識などは設置されておらず、海図にも記載されていないが、本件防砂堤の付近には、本件防砂堤の存在及び危険を周知する看板があった。</p> <p>本事故発生場所は、志賀島漁港区域内であり、本件砂浜へ水上オートバイなどを乗り入れての遊走を制限するために本件砂浜沿いに柵を設置していたが、同漁港区域外から、乗り入れできる状態であったため、福岡市農林水産局では対策を協議していた。</p> <p>本件防砂堤での乗揚事故は、年間約3～4回、発生している。</p> <p>船長及び同乗者は、水着等の軽装で救命胴衣を着用していた。</p> <p>船長及び同乗者は、本件防砂堤の存在と状況を知っていた。</p> <p>本件防砂堤は、本事故時、海面下に没していた。</p> <p>本件砂浜で待っていた友人が、本船の離礁後に事故の発生を海上保安庁へ連絡した。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、本件砂浜沖において遊走中、船長が、海面下に没していた本件防砂堤の切れ間を確認できない状況で、本件防砂堤の近くを通過したことから、本件防砂堤に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、本件砂浜沖において遊走中、船長が、海面下に没していた本件防砂堤の切れ間を確認できない状況で、本件防砂堤の近くを通過したため、本件防砂堤に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険な障害物がある海域では、遊走しないこと。

付図1 事故発生経過概略図

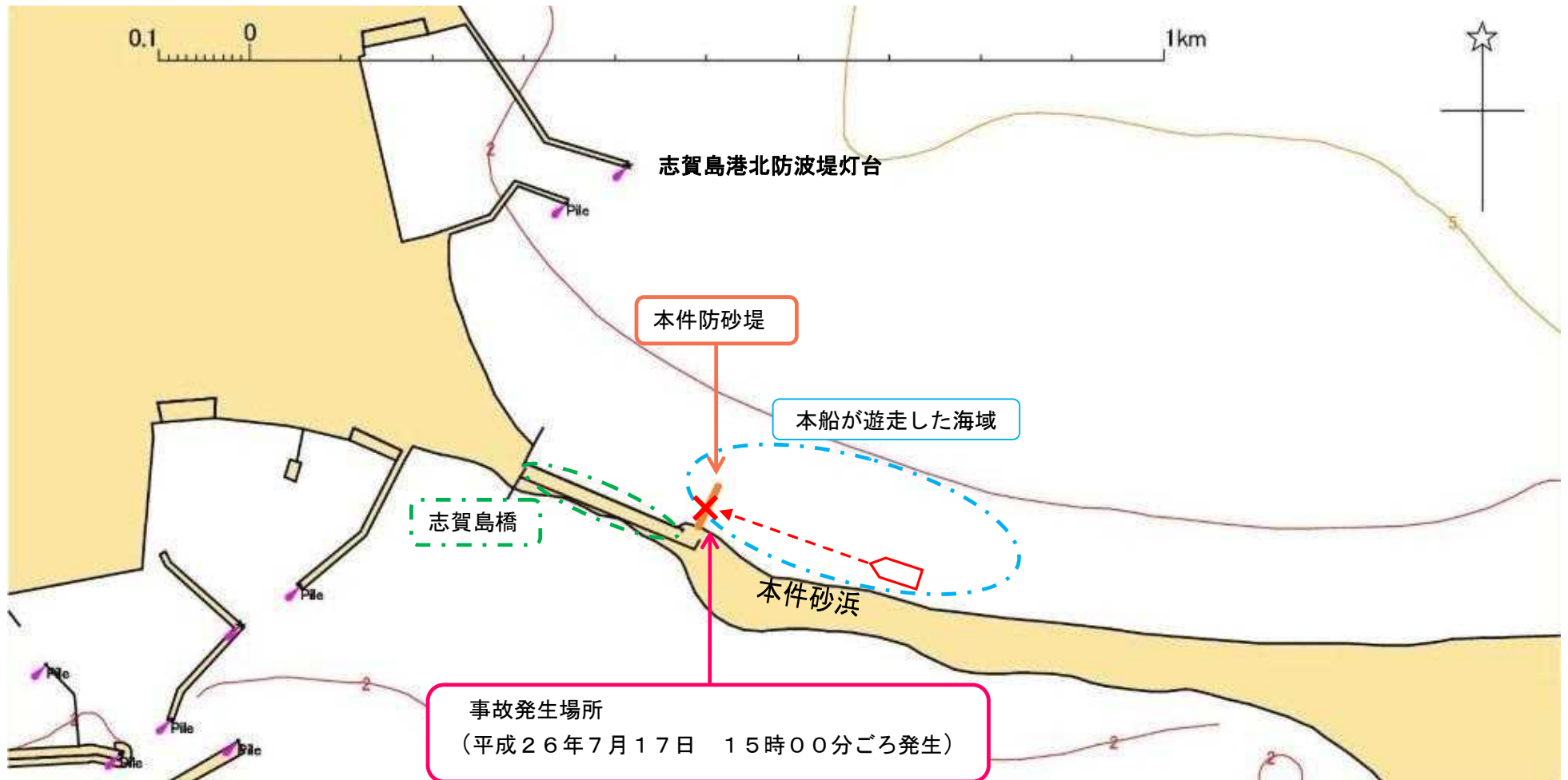


写真1 本件防砂堤（低潮時 潮高 約0.8m）

